

出藍の誉れ

お陰様で第Ⅲ期申請を採択していただき、令和5年4月からスーパーサイエンスハイスクール指定校として11年目の歩みが始まりました。研究開発課題を「ウェルビーイングを目指し、UTO-LOGICを駆使して新たな価値を創る科学技術人材の育成」とし、「学際的な理数教育と探究の「問い」から価値を創造する授業デザイン」、「社会と共創するためにUTO-LOGICを駆使する探究活動」、「学校設定科目 Well-Being の開発とシチズンサイエンスの実践」を三つの柱としました。全校体制のSSHの展開によって、学びの、教育システムの、そしてサイエンス人材育成に係る新たな価値を創造したいとの意を強くしています。

カリフォルニア大学サンディエゴ校でデータサイエンスを研究する卒業生が、ロサンゼルスドジャース17番のロゴの入ったボールをお土産に近況報告に来校しました。アメリカでの学問、仲間、衣食住、そして未来について、もの静かな中に自分の言葉で語る若者と向き合い、本校での6年間で彼に与えただろう正負の刺激に思いをはせました。100年来校舎のあらゆる場所に蔵付き酵母のように付着した「質実剛健」や「進取敢為」の精神とともに、未来を見据え目まぐるしい変化に対応するための資質・能力「UTO-LOGIC」を育む本校の教育システム、多様な生徒教職員との関わりが大なり小なりの影響を与えただろうと思うと、ボールに刻印された「OHTANI」のロゴと目の前の若者が重ねて見えました。先人の有無やシンギュラリティに対する警鐘に委縮も戸惑いもなく、自分で考え立てた目標に飽くなき挑戦を続ける純粋で欲張りな若者の姿です。大げさに言えばこれからの日本の、少なくとも本校の進むべき方向を再確認できた思いで、これぞ出藍の誉れといった心地よさが残りました。

この一年間次の言葉を発し続けました。Thinking outside the box 箱の外で考えよう。常識や定説から飛び出して世界を見てみよう。普段とは違った角度から見て、思い切って型にはまらない考え方をしてみよう。決められたことを決められたとおりにやる力よりも、そのスピードや正確さよりも、グローバルに、イノベティブに、クリエイティブに新たな価値創造のための変化や挑戦に躊躇しないことにこそ価値があると。

これからも、未来創りの人材を本気で育てる宇土中宇土高では、全教科で探究の問いを創る授業を磨いていきます。競争や序列ではなく、生徒一人一人が各教科の学習テーマと日常の気づき、自然の不思議、社会の困りごとをつないで、問いを立て、解明や解決の行動につながる自分事の学びを、探究の学びとして実践していきます。

結びに、御指導を賜ります文部科学省及び国立研究開発法人科学技術振興機構の皆様、SSH運営指導委員の方々、御支援御協力を賜ります研究教育機関、事業者、宇土市、及び熊本県教育委員会をはじめとするすべての関係者の皆様方に心からの敬意と感謝を申し上げます。今後も引き続き御指導御助言を賜りますようお願い申し上げ、御挨拶といたします。